

令和4年度東山区地域保健推進協議会意見集約

書面審議期間 令和4年10月17日～11月7日

1 令和4年度東山区保健福祉センターの取組について

- 東山区版「わたしの健（検）診ガイド」について、医療のいろいろな情報が得られてありがたい。情報が多い分字が小さくなり、高齢者には見づらいところもある。マップに歯科医院名及び薬局名が載っていない。
- 今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容により規模を縮小して実施されているが、東山地域の健康づくりに欠かせない取組であり、更なる充実を期待する。
- がん検診の受検者数、令和2年に比べると増加しているが、令和元年と比べると低迷したままの印象を受ける。対象者に変更はないのか。
- コロナ禍による中止が目立つ。令和4年度においては改善されているかもしれないが、そろそろウィズコロナを念頭に感染対策をしながらの開催及び事業の継続をお願いしたい。
- 献血については、学区により温度差があるように感じる。六原、清水、修道、一橋、今熊野学区が取組に努力されていることが数字に表れている。

2 その他

- 薬物乱用防止対策についても考えていただけたらと思う。
- 新型コロナウイルス感染症の影響でいくつかの事業が休止されているが、その代替措置は講じているのか。
- コロナ禍で報道される数字はコロナ関連がほとんど。
- 最近外出の機会が増えているが、少し前まで引きこもりの方が多くおられた。
- 自殺者の数字が気になる。年間2万人以上、特に高齢者が増えている様子。病気よりも救える可能性が大きいと思う。もっと手を差し伸べる方法があると思う。
- 情報の偏りが精神健康を阻害しているのではと感じる。
- フレイルの増加が顕著。